

戸開走行保護装置  
定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号	UCMP 型式	大臣認定番号	UCMP 型式
ENNNUN-0180	DBRG-1 型	ENNNUN-1540	DBRG-1B 型
ENNNUN-0181	DBRG-2 型	ENNNUN-1541	DBRG-2A 型
ENNNUN-0182	DBRG-3 型	ENNNUN-1542	DBRG-3A 型
ENNNUN-0427	DBRG-4 型	ENNNUN-1543	DBRG-1C 型
ENNNUN-0651	DBRG-1A 型	ENNNUN-2291	DBRG-1D 型

発行：平成 30 年 6 月 1 日 Ver. 1

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	UCMP 盤	型式	目視により確認する。	UCMP 制御盤に取り付けられた銘板の型式が大臣認定を受けたものと異なること。 指定型式：21293AFH/21293AFJ 型
(2)	待機型ブレーキ	形式	目視により確認する。	型式が大臣認定を受けたものと異なること。 形式 DBRG-1:#622/DBRG-2:#620/DBRG-3:#620/ DBRG-4:#626/DBRG-1A:#622/DBRG-1B:#622/ DBRG-2A:#620/DBRG-3A:#620/DBRG-1C:#622/ DBRG-1D:#622
		押付力の調整	目視により確認する。	ロープとパッドが適切に接触していないこと。 待機型ブレーキのみでかごを保持できないこと。
		パッドの厚さの状況	目視により確認する。	ブレーキパッドに印されている罫書き線を超えて摩耗していること。
		油圧ユニット	目視により確認する。	規定の油糧を下回っていること。 過剰に油の飛散があること。
		健全性の監視	保守ツールにて、常時 ON 故障検査手順を実行し、確認する。	動作しないこと。
		摩耗超過防止スイッチ	摩耗超過防止スイッチの動作を確認する。	スイッチの接点が OFF の状態でエレベーターが自動開放すること。
		エレベーター運行許可スイッチ	エレベーター運行許可スイッチの動作を確認する。	スイッチの接点が OFF の状態でエレベーターが運行すること。
		マニュアル開放スイッチ	マニュアル開放スイッチの動作を確認する。	スイッチの接点が OFF の状態でエレベーターが運行すること。
		手動開放レバー	手動開放レバーの動作を確認する。	手動開放できないこと。
(3)	待機型ブレーキ動作感知装置	作動の状況	保守ツールにて、常時 ON 故障検査手順を実行し、確認する。	昇降路の出入り口の床面から±105 mm 以内の位置で動作しないこと。
		寿命	経年を確認する。	設置後 10 年を経過していること。
(4)	特定距離感知装置	作動の状況	動作位置を確認する。	昇降路の出入り口の床面から±105 mm 以内の位置で動作しないこと。
		劣化の状況	経年を確認する。	設置後 10 年を経過していること。
(5)	安全制御プログラム	形式 (名称)	安全制御プログラムのバージョンを確認する。	大臣認定を受けたものと異なること。 型 番 : JAA26807CEZ204 バージョン : JAA31414CAA
(6)	電磁接触器	劣化の状況	動作回数又は経年を確認する。	設置後の動作回数が規定値に到達時、又は設置後 15 年を経過していること。 S-1, S-2 : 15 年経過時 S1, S2, S3 : 15 年経過時

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社

戸開走行保護装置  
定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号	UCMP 型式	大臣認定番号	UCMP 型式
ENNNUN-0180	DBRG-1 型	ENNNUN-1540	DBRG-1B 型
ENNNUN-0181	DBRG-2 型	ENNNUN-1541	DBRG-2A 型
ENNNUN-0182	DBRG-3 型	ENNNUN-1542	DBRG-3A 型
ENNNUN-0427	DBRG-4 型	ENNNUN-1543	DBRG-1C 型
ENNNUN-0651	DBRG-1A 型	ENNNUN-2291	DBRG-1D 型

発行：平成 30 年 6 月 1 日 Ver. 1

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(7)	かご戸スイッチ	スイッチの全閉位置からの距離	金尺等により測定する。	規定値を超えていること。 横開き：5～6.5 mm
(8)	つま先保護板	取り付けの状況	目視及び触診により確認する。	取り付けが強固でないこと。 著しい変形、破損、錆、腐食があること。
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを巻き尺等により測定する。	所定の長さ以上でないこと。 有効長さ：67.5cm 以上
(9)	システムの機能検査	作動の状況	検査手順に従い、戸開走行状態を模擬し、戸開走行判定にて待機型ブレーキが作動、制することを確認する。その後停止距離を測定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定距離感知装置が感知しないこと。</li> <li>・制しないこと。</li> <li>・制距離の年次変化量が著しいこと。(規定値に対して 15% を超える変化量)</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用以外</li> </ul> 検査用ハーネスを接続し常時作動型ブレーキを開放してドアゾーン外で、待機型ブレーキで停止する事を確認する。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用</li> </ul> 制御盤内サーキットプロテクタ「CP15～18」を遮断し、常時作動型ブレーキを開放してドアゾーン外で、待機型ブレーキで停止する事を確認する。	電動機電源及び待機型ブレーキ電源が遮断しないこと。
上記(1)～(9)の検査結果表で「要是正」又は「要重点点検」及び別記第一号 1-(14)・3-(3)・4-(11)の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。				
待機型ブレーキパッドの写真を検査表に貼り付けること。				

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
 著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社